

「ごあいさつ」



皆さま、ご無沙汰しております。昨年までの出来事を中心に掲載させて頂きました。日ごろからお世話になっております、地域の方々、関係機関の方にご高覧頂き、当事業所について少しでもご理解頂きたく発行致しております。

平成三十年八月開設のアプリコットハウスの続き、就労B型事業所の2つ目になります。「第2就労継続支援B型事業所」が平成三十一年三月に開設し、一年が経過したところです。

障がいを持つ方のニーズを支えられるように、また地域の方々と行き交える事業所になるよう職員一丸となり努めていく所存です。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(手塚)

★第1★

就労継続支援B型事業所
農福連携



昨年度は県の農福コーディネーターの方、企業様にご協力頂き、**JAおきたま選果場**のお仕事にチャレンジしました。

主治医、ご本人と相談の上、メンターを選定し紅花チームと選果場チームを編成。時間とともに定着していき皆さんの姿がありました。実習地の方々のご協力なしでは実現できないものと、強く感じております。

他、企業様へ就職を果たされた方もいらっしゃいます。作業の機会を頂戴しながら就職の準備を支援します。

(佐藤)

グループホーム
アプリコットハウス

平成三十年八月一日に定員二十名の共同生活事業所を開設しました。当初は、入居者六名で始まりましたが、おかげさまで満床を迎えることができました。



家庭的な雰囲気の中で楽しく生活しています。自治会中心にホーム内のルールや行事等を立案しながら行っています。

「この街であわせない」を支えられるよう地域の方々、利用者さんからの信頼される事業運営を目指しています。

(坂野)

★第2★

就労継続支援B型事業所
開設

平和堂薬局様 西側



トアブリコツ側ハブの開設しました。一昨年三月に開設しました。第1就労事業所同様、障がいの持ち手の方を個別に支援の方針に沿って取り組んでいます。折や大豆の選別作業を行って箱お返し、企業様との実習を通し就職のサポートを行っています。

年齢が高くなるにつれて、作業の負担が重くなるなど、様々な目標にご利用頂いております。



「相談事業所」

当事業所では障がいに関する相談対応や調整等を行っております。

相談事を受ける中で、本来の大変に感じている方は表面化しにくく、ご家族内等でのサポートが難しくなっています。

8050問題もその一つと考えております。



見えにくいものをどのようか支援につなげられるか、私ども相談援助活動の1つと考え取組んで参ります。

(手塚)

「編集後記」

一刻も早い事態収束を願うばかりです。子どもたちも一日も早く通常の生活が戻りますように、願っています。



昨年の集合写真

医療法人杏山会

= 第 19 号 =

令和2年5月発行

TEL: 0238-87-8008

FAX: 0238-83-1211